

安全就業だより第233号

安全就業対策委員会

令和2年9月10日発行

茨城県内の新型コロナウイルス感染状況

8月中に茨城県内で報告された新型コロナウイルス感染者数は251人となり、月ごとの集計では4月の139人を超え最多となりました。特につくば市を中心に県南地域での感染が拡大しており、8月末の時点で茨城県内の累計感染者は545人となっています。

県北地区でも、那珂市と東海村のカラオケ店でクラスターが発生しており、日立市内では8月だけで9名の方の感染が報告されており、まだまだ気が抜けない状況が続いています。

会員の皆様の中にも、やむを得ない事情により遠出をする機会がある方もいると思いますが、県外特に東京等の感染拡大が発生している地域に出かけた場合は、自主的な自宅待機をする等、感染拡大に十分に配慮するよう心掛けてください。

秋の全国交通安全運動

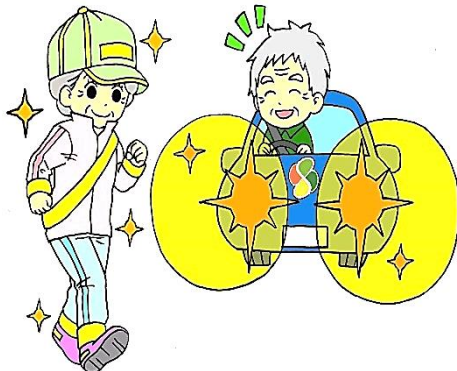
今年の「秋の全国交通安全運動」は、9月21日（月）から9月30日（水）までの10日間実施されます。中でも、9月30日（水）は「交通事故死ゼロを目指す日」です。一人ひとりが交通安全について考え、行動し、悲惨な交通死亡事故を無くしていきましょう。

スローガン

夜道こそ 自分をアピール 反射材



薄暮時の交通事故に注意！



薄暮時間（日没前後の1時間）は、自動車と歩行者が衝突する事故がもっとも多く発生しています。全国で過去5年間に発生した薄暮時間帯（2時間）の死亡事故（自動車と歩行者）は、1時間あたり約682件です。これは昼間の約168件と比較して約4倍で、夜間の約321件と比べても約2倍です。比率で見ると自動車と歩行者の死亡事故の53%は、薄暮時間帯の2時間に発生しています。ドライバーはもちろん、歩行者・自転車の方も十分に注意するよう心掛けましょう。

新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために

感染拡大を防ぐために



国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、

小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止です。

<感染経路の特徴>

※「小規模患者クラスター」とは
感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

- ◆これまでに国内で感染が明らかになった方のうちの8割の方は、他の人に感染させていません。
- ◆一方、スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。

このように、集団感染の共通点は、特に、

「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

国民の皆さまへのお願い

- ◇ 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- ◇ イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行っていくため、国内の感染症の専門家で構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。